

1. 「株式会社ってすごいんだ！」

みんな、わたしたちの身の回りにあるもののほとんどが『株式会社』っていう形の会社によって作られているんだよ。今日は、その中でも3つの会社、コクヨ、任天堂、サイゼリヤについて話してみようと思います！

前半：売上や従業員について

じゃあ、まずクイズ！みんな、コクヨ、任天堂、サイゼリヤってどれくらいの売上や従業員がいると思う？

コクヨ：みんな、ノートや文房具を使ったことあるよね？コクヨは文房具やオフィス用品を作っている会社なんだけど、1年間で約3000億円も売り上げてるんだ。そして、従業員は約6000人もいるんだよ！すごいよね。

任天堂：次はみんな大好き、ゲームを作っている任天堂。任天堂の売上はなんと約1.5兆円！それに、任天堂では約7000人の人が働いているんだ。みんなが楽しんでいるゲームが、こんなに大きな会社で作られているんだね。

サイゼリヤ：最後は、みんな家族と行ったことがあるかもしれないサイゼリヤ。サイゼリヤはレストランのチェーン店で、売上は約1700億円。そして、約7000人が働いているんだ。おいしいご飯を提供してくれるレストランも、大きな会社なんだよ！

どう？みんなの予想より大きかったかな？こういう風に、株式会社にはたくさんの人が働いていて、たくさんの商品やサービスを提供しているんだ。

後半：創業者と会社の始まり

じゃあ、次に、コクヨ、任天堂、サイゼリヤがどうやって始まったのか、少し昔の話をしてみるね。

コクヨ：コクヨは、1905年に始まったんだよ。創業者の黒田善太郎さんは、最初に**表紙の厚いノートを作りたい！**って思ってスタートしたんだ。学校で使うノートがもっと便利で使いやすいものになれば、勉強も楽しくなるって考えたんだね。

任天堂：次は任天堂。みんなが知っているゲーム会社だけど、実は1889年に創業されたんだ。創業者の山内房治郎さんは、最初は花札というカードゲームを作っていたんだよ。最初はカードを作って遊ぶ会社だったけど、その後どんどん新しい遊びを生み出して、今では世界中で大人気のビデオゲームを作る会社になったんだ。

サイゼリヤ：サイゼリヤは、1973年に始まったレストランだよ。創業者の正垣泰彦さんは、「おいしいイタリア料理を、できるだけ安くみんなに楽しんでもらいたい！」って思いでお店を始めたんだ。だから、サイゼリヤは今でも安くおいしいメニューがたくさんあるんだよ！

まとめ

どう？コクヨ、任天堂、サイゼリヤ、それぞれ創業者の思いがあって始まった会社なんだ。みんなの身の回りにあるものやお店、実はこんな風に「株式会社」という形で、たくさんの人の力で動いているんだよ！いつかみんなも、自分の思いを形にする会社を作るかもしれないね！

追加のポイント

売上と従業員の話は、会社の規模や社会での役割を伝えるための興味深いポイント。創業者の話は、会社がどのように始まったのか、そしてそれがどんな夢やアイデアに基づいていたかを伝えることで、子供たちにも「自分も何かを作りたい！」という気持ちを刺激するように設計されています。

2. ところで会社ってなに？

「会社」って何だろう？それをわかりやすくするために、ちょっと昔のお話をしてみよう。今回は「東インド会社」というとても有名な会社の話を使って説明するね。

昔々、1600年代のヨーロッパでは、みんな遠い国と商売をしてお金を稼ぎたかったんだ。けれども、船で何ヶ月もかけてインドやアジアに行って、そこから商品を持って帰ってくるのはとても危ないし、お金がたくさんかかった。もし嵐で船が沈んだり、海賊に襲われたりしたら、すべてが無くなってしまうからだ。

そこでイギリスの商人たちは「一緒にお金を出し合って、リスクを分けよう」と考えたんだ。この「みんなでお金を出し合って商売をする」というのが、実は「会社」の始まりなんだよ。

東インド会社の誕生

1600年、イギリスの商人たちは「東インド会社」という会社を作った。この会社は、たくさんの人が少しずつお金を出して、船を作り、インドやアジアに行って香辛料やシルクなどを買いに行くことを目的にしていたんだ。

このとき、大事なポイントは「お金を出した人たちは、全員でその商売の利益も分け合う」ってこと。もし商売がうまく行って大儲けしたら、出したお金に応じてみんながその儲けをもらえる。だけど、もし船が沈んでしまったら、全員でその損失も分けるんだ。

会社のしくみ

こういう風に、たくさんの人が少しずつお金を出して一緒に商売をするしくみが「会社」なんだよ。みんながそれぞれちょっとずつリスクを負うことで、大きなことにも挑戦できるようになる。

東インド会社はとても成功して、長い間、イギリスがアジアと商売をする大きな窓口になったんだ。その後、世界中でいろんな「会社」が作られるようになって、いまでは私たちの身の回りのものは、ほとんどすべて会社を作ったり売ったりしているんだよ。

まとめ

会社とは、みんなが少しずつお金を出し合って、商売を一緒にするしくみ。

東インド会社は、イギリスの商人たちがリスクを分け合いながら遠い国と商売をするために作った会社のこと。

このしくみのおかげで、みんなでリスクを分け合って、大きな挑戦をすることができるんだ。

このように、会社は昔から大きな商売をするために役立ってきたんだよ！

3. スタートアップってなに？

「スタートアップ」っていう言葉、最近よく聞くよね。これも「会社」の一種なんだけど、ちょっと特別なものなんだ。どう特別かを説明するために、またストーリーで話してみるね。

新しいアイデアを持つ人たち

みんな、何か新しいことを考えるのって楽しいよね。例えば、「こんなゲームがあったら面白いな」とか、「もっと早く移動できる自転車があれば便利だな」とか。スタートアップっていうのは、こういう新しいアイデアを持って、それを本当に形にしようとする会社なんだ。普通の会社は、すでにある商品やサービスを売ったり、何年も続けている商売を大きくすることが多い。でも、スタートアップはまだ誰もやってないことをやろうとするところがポイントだよ。だから、最初は小さなチームだったり、あまりお金がないことも多いんだ。

夢を形にする冒険

スタートアップを始める人たちは、たとえば「空飛ぶ車を作りたい！」とか「ゲームの世界に入れるメガネを作りたい！」というような、すごく大きな夢を持つてる。もちろん、それを実現するのは簡単じゃない。お金がかかったり、うまくいかないこともたくさんある。でも、そのチャレンジこそが楽しいんだ。

スタートアップをする人たちは、まず少しのお金を集めて、チームを作る。友達や他の人を集めて「このアイデア、どう思う？」と話し合って、みんなでアイデアを磨いていく。そして、そのアイデアを信じて支えてくれる人を探して、もっとお金を集めるんだ。

お金を出してくれる人（投資家といいます）も、**「この新しいアイデアが世界を変えるかもしれない」**と思うから応援するんだ。もしそのアイデアがうまくいったら、みんなでその成功を分け合うんだよ。

成功したスタートアップの例

たとえば、今みんなが毎日使っているスマートフォンのアプリも、昔は小さなスタートアップが作り始めたものが多いんだ。最初は誰もそのアイデアがうまくいくかわからなかったけど、やってみたら「これ便利！」ってなって、たくさんの人に使われるようになった。そして、そういうスタートアップが成功すると、会社もどんどん大きくなって、新しい製品やサービスを作り続けるんだ。

夢を持って挑戦できる

スタートアップをすることの一番の魅力は、自分の夢やアイデアを本当に形にできるってところ。普通の会社は安定しているけど、スタートアップはまだ誰もやっていないことを始めるから、ワクワクすることがいっぱいあるんだ。そして、もしそのアイデアが成功したら、世界中の人がそれを使うようになるかもしれない！

スタートアップをする人は「無理だ」と言われても、あきらめない。自分を信じて、仲間と一緒に頑張って、新しい未来を作っていくんだ。君も大人になったら、そんな夢を持ってスタートアップに挑戦してみたらどうかな？

まとめ

スタートアップは、新しいアイデアを持って、まだ誰もやっていないことに挑戦する会社。少人数で始めたり、お金が少なくても、夢を信じて進むことが大切。世界を変えるようなすごい発明やサービスも、スタートアップから生まれている。失敗を恐れず、仲間と一緒に挑戦する冒険のようなもの。スタートアップは、自分の夢を現実にするための一歩なんだよ！

4. 社長の仕事ってなに？

社長の仕事は、みんなのリーダーとして会社を引っ張っていく、とっても大事な役割なんだ。社長は、みんなと一緒に働くためのチームを作って、どんな風に進んでいくかの**「道しるべ」**を作る人なんだよ。

たとえば、学校のクラブ活動で考えてみてね。もしサッカークラブなら、「今年はどんな試合に出るか？」とか、「どんな練習をして強くなるか？」を考える人が必要だよ。それを決めるのが社長のようなリーダーなんだ。

社長は、会社がどんな商品やサービスを作るか、そしてそれを通じて**「世の中にどんな価値を届けたいか」

を考えるのが大切な仕事。たとえば、おいしいお菓子を作ってみんなを笑顔にしたいとか、便利なアプリを作って人の生活をもっと楽しくしたい、といった夢やビジョン**を描くんだ。そして、その夢を実現するためにみんなを導くんだよ。

また、社長は創業者（会社を最初に作った人）でもることが多いんだ。つまり、社長は**「どんな問題を解決したいか」「世の中をどう変えたいか」**という大きなアイデアを持っ

ている人なんだ。たとえば、「みんなが楽しく遊べるおもちゃを作りたい！」とか、「世界中で使える便利なサービスを作りたい！」と思った人が、その夢を実現するために会社を作るんだよ。

だから、社長はただ会社を動かすだけじゃなくて、みんなの夢を一つにまとめて、世の中に価値を届けるための大きなリーダーなんだ。みんながどんな方向に進めばいいかを決めて、一緒に未来を作っていく冒険のリーダーみたいな存在なんだよ！